

第8回学校関係者評価委員会

○日時：令和8年7月1日（水）午後2時～3時半

○場所：河崎会看護専門学校会議室

○出席者：

- （1）評価委員
- | | |
|----------|---|
| ①実習施設関係者 | 市立貝塚病院 看護局長
泉大津市立周産期小児医療センター 看護部長
永山病院 看護部長 |
| ②高等学校 | 大阪府立貝塚南高等学校 校長 |
| ③卒業生 | 近畿大学病院 看護師
岸和田徳洲会病院 看護師 |

- （2）学校教職員 学校長、副学校長、3学科各教務主任、事務長

○各学科の2025年度重点目標の達成状況及び2026年度の重点目標の説明

○2025年度学校評価（自己評価）の説明

○学校関係者評価

- （1）評価結果 学校教職員による2025年度自己評価は概ね妥当と認められる。

- （2）評価委員の主な意見

- 病院では中学生の体験学習を行っている。貴校が実施する体験型オープンキャンパスも看護の魅力発信に高い効果がある。
- 臨地実習で指導困難な学生がいた場合には、現場の指導者や教育担当者と情報共有し、協働して対応するようにしたい。
- 今の若い人達には人に興味がないという傾向がある。臨床では、同僚、上司、先輩、患者など様々な人と関わることが求められるので、看護学校には学生が人に興味を持つことを育む教育を期待するが、貴校には幅広い年齢層の学生がおり、学生は学校生活の中で色々人との関わりについて育むことが出来るという強みがある。
- 人との関わりを避けて通るなど人との関わりが下手な人が増えており、若者だけでなく経験を積んだ人でもハラスメントにならないかと身構えてしまう。

学生時代に人との関わりを大事にして友達の輪を広げていくことが自身の強みになる。誰しもメンタルにダメージを受けるか分からない状況にあるが、悩みを放出し、SOSを上げたら誰かが助けてくれる人間関係を構築したたくましい人を育ててほしい。

新人看護師に限らず、職場と卒業校で連携して支援できるとよい。

- 広報活動では、戦略的にSNSの活用を進めると受験生の確保に繋がる。中でも学生たちの学校が楽しい、先生方がよく相談に乗ってくれるといった肯定的意見を発信していくと効果的。